

日本共産党
すみだ区議団ニュース
 第508号
 発行 日本共産党墨田区議会議員団
 発行責任者 高柳東彦 / 編集責任者 ときま剛
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

コロナ禍でより深刻になった生活保護の改善、心のケア強化を

はらつとむ区議の本会議質問

墨田区議会定例会6月議会が、6月12日から30日までの日程で開かれました。
 17日には、はらつとむ区議が一般質問に立ち、「生活保護制度の改善と相談体制の強化」、「心の健康」、「SNSにおけるトラブルの予防」などについて、山本区長と加藤教育長の見解を質しました。

弱い立場の人に寄り添い生活保護制度の改善を

はら ①生活保護で単身世帯の場合、家賃の上限は5万3700円で、この値段で探すことは大変難しい。住宅扶助の引き上げを国に求めるべき。②ケースワーカーは、社会福祉法の標準80世帯に対し6名ほど足りない。増員をすべき。③生活保護などの夜間・休日の問い合わせについて、宿直が当番の係長に電話をつなぐことになっていくが知られていない。周知を図るべき。④一時宿泊所にジェンダーの視点を取り入れ、ビジネスホテルなど

を留意するなど丁寧な対応を。 **区長** ①住宅扶助上限額は適正なものと認識しており、国への要望は考えていない。②ケースワーカーの増員は、受給世帯数の状況等も鑑み、必要な人員を適切に配置していく。③年末年始など閉庁日が続く期間を中心に、配慮を要する世帯への周知を継続していく。④性別違和を有する方から住まいのご相談があれば、個室の宿泊所の確保など、状況に応じた対応を行っている。



一般質問を行う、はらつとむ区議(6月17日、区議会本会議場)

「コロナ禍のもと心のケアの強化を

はら ①悲嘆に寄り添い心のケアを行う「グリーンケア」の普及が求められる。大阪府豊中市では、うつ病・自殺対策の一環として、パインレットを、死亡届を提出した人や、病院・高齢者施設・葬儀社に配布している。また、市民や市職員向けの講座にも取り組んでいる。区も、このような取り組みをすべき。②コロナ禍のもと、DVや虐待が大きく取り上げられた。一人暮らしの高齢者からは、外出できないために、うつ状態になったとの声も聞く。教育現場での相談場所や、不眠やうつが続く場合は、

保健所で相談にのることなどを周知すべき。一人暮らし高齢者には、訪問を含めた見守り強化が必要だ。 **区長** ①区民向けの自殺対策研修や、区報、ホームページ、チラシなど広報媒体を活用してグリーンケアの情報の発信に努めている。今後は、関係施設にチラシを置いてもらえるよう働きかける。②保健所において「こころの相談」を開始した。相談内容に応じて、福祉事務所や、子育て支援総合センターなど、専門的な部署と連携し、継続的な支援を行う。

SNSにおけるトラブルの予防対策を

はら ①SNSで中傷された女子プロレスラーが22歳の若さで命を絶った。このような悲劇を繰り返さないために、ネット社会の在り方について議論や対策が求められる。区としてSNSの便利な面とマイナスの面を啓発していくことが大切。小・中学校では、学期ごとに1時間ずつ講習を行うとしていたが、時間を確保し、気を付けることを集中的に学び、その後、時事ニュースなどを用いて復習を。②墨田区人権啓発基本計画では、冊子の普及や区報の人権コラムなどに

とどまっている。SNSについて家族で考える区報の特集号の作成や、大人向けのSNS活用講座を開くなど、取り組みを強化すべき。 **教育長** ①学期ごとの授業は、長期休業前に「SNS東京ノート」等を活用して行うが、時間の確保を指導していく。必要に応じて、事実上のニュースと関連付けながら、子どもたちの習熟度にに応じて丁寧に指導していく。 **区長** ②区報特集号の作成や、大人向け活用講座の開催等については、今後の参考とさせていただきます。

あさの清美区議が本会議で討論

6月30日、各議案の採決にあたり、反対する条例案等について、あさの清美区議が意見を述べました。(写真)



ぞらの移転先については、既存の施設を探すだけでなく、新規に建設することも視野に入れて再検討すべき」と主張しました。

次に、令和2年度一般会計補正予算について、「たちばなデイサービスの廃止を前提にしたステップハウスのおおぞらの移転費用が盛り込まれていること。緊急融資の期間の延長以外には、区民の暮らしを直接応援する事業が見られないことから賛成できない」と指摘。他区の支援策を紹介して「墨田区も、区民の暮らしと営業を守り、応援するために、もっと踏み込んだ支援策を講じることを強く求めました。」

「たちばなデイサービスの存続を」陳情を自民・公明などが不採択に

日本共産党は、「ステップハウスのおおぞら」がある旧文花小学校・校舎の老朽化が進み、耐震性などに問題があるため、早急な移転を要求。一方で、たちばなデイサービスを移転先にするなどについては、利用者等への十分な説明と合意を得るよう求めてきました。

はらつとむ区議は、「利用者の理解が得られない。周辺事業所で受け入れ可能かどうか、すでに利用者がいて入れなかったり、同じ水準のサービスが受けられない状況」と陳情の採択を強く主張しました。自民や公明は、「利用者に対する十分な説明を行う」「ことを求めたうえで、陳情は不採択としました。」

そんななか、「たちばなデイサービスの廃止予定の見直し、存続を求める」陳情が提出され、6月24日の区

▼感染拡大が止まりません。東京では7月10日に過去最多の24人が新たに新型コロナウイルスに感染し、その後も感染者数は200人を超えています。墨田区でも7月に入り22名の方が感染(12日現在)しています▼ところが、政府は観光需要喚起策「Go to キャンペーン」を大幅に前倒しして、7月の4連休前日から実施するとし、批判の声が上がっています▼東京の状況は、1週間平均で人口10万人あたりの新規感染者数が8人を超え、感染拡大防止のために都道府県が社会に協力要請する基準2.5人どころか、緊急事態宣言を出した際の5人をはるかに超えています。地域で飲食店を営む方々からは「感染者数の拡大で、店を続けられるの不安しかない」「このままでは来るお客さんも、営業する私たちも全く安心できない」と深刻な声も寄せられています▼日本共産党は国と都に

に対し徹底した補償とセーフティでの自粛要請を、業種と地域を限定してただちに行なうこと、あわせてPCR検査の緊急拡大を強く求めます。感染が明らかに拡大している地域では、住民も対象に幅広く検査を行うこと。首都圏や大阪などの感染拡大地域では医療・介護従事者、障害福祉関係の労働者、保育士や学校の教職員などを対象に定期的な検査を開始することが必要ではないでしょうか。

コロナ禍のもとでの区政のあり方

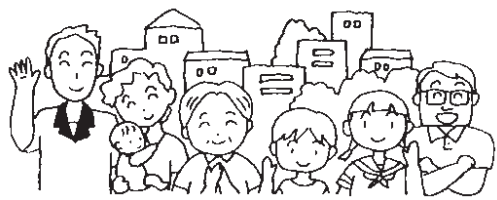
経済効率最優先ではなく 命と暮らしを何よりも大事に

区は、「新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域経済の低迷および区民生活への多大な影響が長期化する中、区民生活を守る施策の強化を図り、その対策を区民にわかりやすく、全庁横断的に推進するため政策パッケージを策定する」として、その「骨子案」を、6月25日の企画総務委員会で報告しました。

「政策パッケージ(骨子案)」は、「感染警戒期(感染拡大への注意・対応が必要な時期)」と「Withコロナ(新しい生活様式の定着を推進する時期)」に区分して、それぞれの施策案を列記し、「第2波・第3波の発生時には、『感染警戒期』に戻り、必要な打ち手を講じながら、再び『すみだのあるべき姿』をめざす」としています。

高柳東彦区議は、感染警戒期の活動について、「PCR検査などは、抜本的に数を増やし、消極的な対応から、積極的な対応へ転換すべき」、「生活に困っている人の支援は、生存権の保障を基本に据え、現金給付型の支援も行うこと」、「事業者への支援は、自粛と補償はセットで行うことを原則とする」よう求めました。

また、Withコロナについて、「これまでと同じ経済効率最優先で、自己責任を押し付ける新自由主義を基本にした施策となっている。そこから抜け出して、ひとり1人の命や暮らしを何よりも大事にする区政に転換を図るべきだ」と指摘しました。



三カ月前に東京の西部から引越してきた80代の男性が、38度の熱が時々出て、少しだるい症状で受診しました。咳もなく、肺炎もありませんでした。普通の風邪として説明し、薬をだしました。念のため血液検査もしました。一週間後また発熱し、37度から38度の間で、ひどくはなかった。もしかしてコロナかと思ひ、熱が続くような



シリーズ

すみだ共立診療所 吉沢先生にきく コロナを疑った胆管ガン

ら保健所に連絡してPCR検査ができるよう紹介状を出す話までしました。なんでもコロナを疑ってしまい、私もコロナストレスになっていました。血清の検査結果を見ると、肝臓病があるように思えました。病歴を聞くこと10年以上前に胆管ガンの手術をやったのでした。そして数年後に黄疸が出て、また小手術を行っていました。だとすると発熱の原因は、胆汁が肝臓



区長に要望書を手渡す立憲民主党と日本共産党の区議団(左から、山下区議、としま区議、中村区議、洪田区議、山本区長、高柳区議、あさの区議、はら区議)

深刻な暮らしと営業を守るための緊急対策を 立憲民主党と日本共産党区議団が区長に要望

立憲民主党墨田区議団と墨田オンブズマン、日本共産党墨田区議団は連名で、「新型コロナウイルス対策における補正予算案編成に関する要望書」を7月3日、山本区長に提出しました。

墨田区は、新型コロナウイルス感染症対策で、これまで4次にわたる2020年度一般会計の補正予算を編成しています。現在、区は、国の第二次補正予算の成立などを踏まえ、第5次の補正予算案の編成を急いでいます。この間の補正予算の中には、区民の暮らしと営業を守るうえで評価できるものもありますが、問題は区独自の経済

- ① 落ち込んだ消費を回復させるため、プレミアム付き商品券を発行すること。(プレミアム率50%、5千円券を20万部発行する)
- ② 厳しい経営状況になっている小規模事業者・個人事業主に対し、家賃助成を行うこと。(月5万円を上限に、3カ月間。最大15万円)
- ③ 区立小中学校の1学期の給食費を無償にすること。
- ④ 障害者就労施設で働く人に対し、休業などで得られなかった賃金を補償すること。
- ⑤ シルバー人材センターで働く高齢者等に対し、区立学校の休校などにより仕事がなくなくなり、減少してしまった配当金を補償すること。

区長への要望事項

墨田区議会6月議会で議決された主な議案等と各党の態度

	共産	自民	公明	立憲墨	墨立憲	オン	新す	絆	無	結果
令和2年度 墨田区一般会計補正予算(第4号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度 墨田区一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区特別区税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
災害に際し応急措置の業務に従事した者等に係る損害賠償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
物品の買入れについて『災害備蓄用の保存食料品を買い入れるもの。』	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
物品の買入れについて『東京都知事選挙用の投票用紙自動交付機、読取分類機外2品目を買い入れるもの。』	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
財産の取得について『緑小学校外24校の屋内運動場に係る空調機を所有権移転付き賃貸契約により取得するもの。』	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
立花一丁目97番地7(地番)の共同住宅新築工事計画における墨田区景観計画等関係条例に基づく適合審査に関する陳情	○	一部採択	一部採択	一部採択	一部採択	○	一部採択	一部採択	一部採択	要旨1・2採択 要旨3・4・5不採択
たちばな高齢者在宅サービスセンター(たちばなデイサービス)の廃止予定の見直し、存続に関する陳情	○	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択

※「立憲墨」は「立憲民主党墨田区議団」、「墨立憲」は「墨田区議会立憲民主党」、「オン」は「墨田オンブズマン」、「新す」は「新しいすみだ」、「絆」は、「地域連合「すみだの絆」、 「無」は、「無所属」の略。